

上三川町立北小学校「図書ボランティア」

【活動の概要】 上三川町立北小学校では、「図書ボランティア」グループの活動が盛んであり、毎日学校へ自由に集まってきて、様々な活動を展開している。図書の整理・補修はもちろん、校内での読み聞かせ活動や隣の明治中学校吹奏学部とのコラボレーションによる大規模な「おはなしの集い」なども開催している。

【始めるきっかけ】 1998年に学校だよりで「学校の図書室の本が傷んでいるので補修をお手伝いして欲しい」という依頼を保護者にしたことから始まっている。当時は、「学校支援ボランティア」という言葉もなかったこともあり、集まった有志が口コミで仲間を誘い組織ができた。「子どもたちの読む本を直してあげたい」「絵本を読んであげたら、みんなが喜ぶかな」「絵を描いていろいろな本を紹介してあげたらどうかな」と、活動は仲間からたくさんのアイデアが生まれ、いろいろな活動へと広まっていった。

【活動の内容】 活動は、毎日9時頃から5時頃まで、図書室の隣にある図書準備室を活動拠点に、集まってきて次のような活動をしている。

読み聞かせに使用する描画の作成、ペープサートの準備、季節感あふれる図書室のディスプレイなど幅広く活動している。

○毎週木曜日の朝、読み聞かせの実施。

○毎月1回、業間の時間に全校読み聞かせの会の開催。

また、町の週末活動支援事業が平成16年度で終結したが、その後も図書ボランティア自らが、ペープサートのおはなし会を発表したり、隣の中学校との協働で、音楽とおはなしのコラボレーション「おはなしの集い」を開催したりしている。



<手作りのプログラムを作成し配布をしている>



○おはなしの集い

<おはなしの集い・左手前が星校長先生>

「つきよのおんがくかい」を題材に、ペープ
（下野新聞 H17.10.16 掲載写真より）
サートが大きな北小の体育館ステージで踊る
と、その下のフロアーでは総勢29人の明治中学校の吹奏楽部の生徒がフルオーケストラで演奏するという事業である。北小・星校長先生も自らサクソホンを手に取りオーケストラの応援に入り、地域の子もたちや保護者等およそ150人の参加者におはなしのステージと音楽を提供していた。この企画は、地域の人たちからとても好評であり、参加した中学生たちからも、「自分たちの活動の発表の場ができてとても嬉しかった。」などと感想が寄せられている。

【成果と課題】

成果としては、この図書室での様々な活動をしながらか仲間との情報交換をしたり、また、ボランティアとの架け橋をしている教頭先生などとの話から子どもたちの様子を理解したりすることができ、楽しみながら活動ができるようになった。

課題としては、少しでも本やおはなしが大好きな子どもたちを増やしていくためにはどのような活動があるか、更なる展開を考えていくことがあげられる。

★ ここが特徴！

- ☆ 受け入れる学校側の態勢が整っており、常に協働の意識をもって、よい関係がつけられている。
- ☆ ボランティア自らが活動内容を考え提案し、そして調整しながら、活動をしている。
- ☆ ボランティア・教職員・保護者等が協力的である。
- ☆ ボランティア室（図書準備室）が整備され、ボランティアの情報交換・交流場所になっている。
- ☆ 行事の際には、細かな役割分担をきちんと明示し、お互いが責任をもって動いている。